

動物愛護のために 私たちに何ができるのか

太古の昔から、動物は人間が生きていくために欠くことのできない存在でした。しかし、現代では動物と人間の関係は、商業主義の中で大きく変えられ、「生きた命」としての動物の姿が見えにくくなっています。人と人々が共生していくために、その関係を調整する倫理が必要であるように、人間が「生きた命」として人間らしさを維持するためには、動物との関係（動物倫理）をじっくりと考えてみる必要があります。

今回は、動物愛護の現場で実践的な取り組みを続けてこられた二人の方を講師として招き、来場者と共に、動物愛護や、動物と人間のあるべき関係について考えてみたいと思います。

●日 時 2012年 12月 6日 (木) 午前10:45~12:15

●場 所 同志社大学 今出川校地 神学館3階 礼拝堂

●講 師

杉本 彩 (女優・作家・ダンサー)

林 俊彦 (動物愛護団体 ANGELS 代表)

●プログラム

[司 会] 小原 克博 (同志社大学 神学部教授)

講 演: 林 俊彦、杉本 彩

パネルディスカッション

フロアーとの質疑応答



●入場無料、事前申込不要。

●この公開シンポジウムは、同志社大学 秋学期開講科目 組織神学1「現代におけるキリスト教倫理の諸問題」(小原克博・担当)の一部を一般向けに公開するものです。

●お問い合わせ 小原克博 (e-mail: kkohara@mail.doshihisa.ac.jp)